

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料



モビリティ領域のDX推進



データ×AI技術で収益拡大

挑戦を未来の力に

PROTO

プロトコーポレーション

証券コード：4298

2023年1月31日
(決算説明会2023年2月3日)

目次

トップページ	P.3 …企業目標・会社概要 P.4 …プロトコレーションの特徴
業績サマリ	P.6 …2023年3月期 第3四半期累計 エグゼクティブサマリ P.7 …セグメント別PL 2023年3月期 第3四半期累計 P.8 …セグメント別 売上高総利益率、営業利益率の推移 P.9 …2023年3月期 第3四半期累計 業績の概要 P.10 …2023年3月期 通期業績予想(2022年10月31日発表)
プラットフォーム事業の概況	P.12～P.15 …中古車・整備・新車領域の進捗について P.16～P.17 …中期成長戦略 モビリティ領域のDX推進
Appendix	P.19～P.27 …各種業績指標等 P.28～P.29 …新セグメントの詳細

企業目標

挑戦し続けることで変化（チェンジング）を生み出す チェンジング・カンパニー

会社概要

設立	1979年6月1日
主な事業内容	モビリティ関連情報の提供 モビリティ領域のDX推進
本社	愛知県名古屋市中区・東京都新宿区西新宿
取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場 証券コード：4298

2022年3月期業績・指標

売上高	574億円	時価総額	519億円
営業利益	64億円	PER	10.16倍
ROE	15.4%	PBR	1.19倍

※2023年1月30日時点



代表取締役社長

神谷 健司

当社は2022年10月1日をもって創業満45周年を迎えました。
これも偏に皆様方のご支援・ご愛顧を賜った結果であり、心より感謝申し上げます。

当社は創業以来多くの挑戦を重ね、日本で初めて中古車情報誌を創刊した会社からモビリティ領域のDXを中心とした会社へと進化するとともに、多くの領域で事業を展開してまいりました。

これからも「夢と感動 楽しい！」の追求を通じて世の中に新たな価値を生み出し、真に社会から選ばれる「未来社会のパートナー企業」を目指すことによって、株主・投資家の皆様から愛される企業であり続けられるよう、尽力してまいります。

プロトコーポレーションの特徴



45

YEAR OF
EXPERIENCE

① 中古車情報メディアのリーディングカンパニー

知名度の高いクルマ情報メディア「グーネット」を運営
中古車販売店 取引店舗数シェアは約60%と業界トップクラス

② モビリティ領域のDXをトータルサポート

中古車・整備・新車領域を横断したDXの推進
データ×AI技術で収益機会を拡大中

③ 新中期経営計画で高成長を目指す

※詳細は2022年3月期決算説明資料 参照

2025年3月期 目標

売上高 1,250億円、営業利益 100億円、ROE12%以上

2022年3月期 実績

売上高 574億円、営業利益 64億円、ROE15.4%

2023年3月期 業績サマリ

(第3四半期累計実績ならびに通期計画)

2023年3月期 第3四半期累計 エグゼクティブサマリ

売上高・営業利益ともに前年実績および計画を上回る

(単位：百万円)	前期実績	修正計画	当期実績
	2022年3月期 第3四半期累計 (4月-12月)	2023年3月期 第3四半期累計 (4月-12月)	2023年3月期 第3四半期累計 (4月-12月)
売上高	42,692	73,225 前期対比+71.5%	79,329 前期対比+85.8% 計画対比 +8.3%
営業利益	5,141	5,733 前期対比+11.5%	5,976 前期対比+16.2% 計画対比 +4.2%
経常利益	5,294	5,843 前期対比+10.4%	5,378 前期対比 +1.6% 計画対比▲7.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5,049	3,896 前期対比▲22.8%	3,490 前期対比▲30.9% 計画対比▲10.4%

■ 売上高は、①モビリティ関連領域においてDX関連プロダクトの拡販が順調に推移したこと ②輸入タイヤ・ホイール販売を手掛けるオートウェイにおいて円安・原材料高の影響を販売価格へ転嫁したことに加え、強みである価格優位性が寄与し販売数量が増加したこと ③チケット販売を手掛けるコスミックグループにおいて第2四半期までと同様、第3四半期についても計画を上回ったことなどにより、前年実績および計画を上回った。

■ 営業利益は、主に利益率の高いプラットフォーム事業の売上高が堅調に推移したことにより前年実績および計画を上回った。

■ 為替相場の変動によるデリバティブ評価損が6.8億円発生。

■ 前年は株式会社プロトメディカルケア（現:株式会社ハートメディカルケア）の株式売却益が21.4億円発生。

セグメント別PL 2023年3月期 第3四半期累計

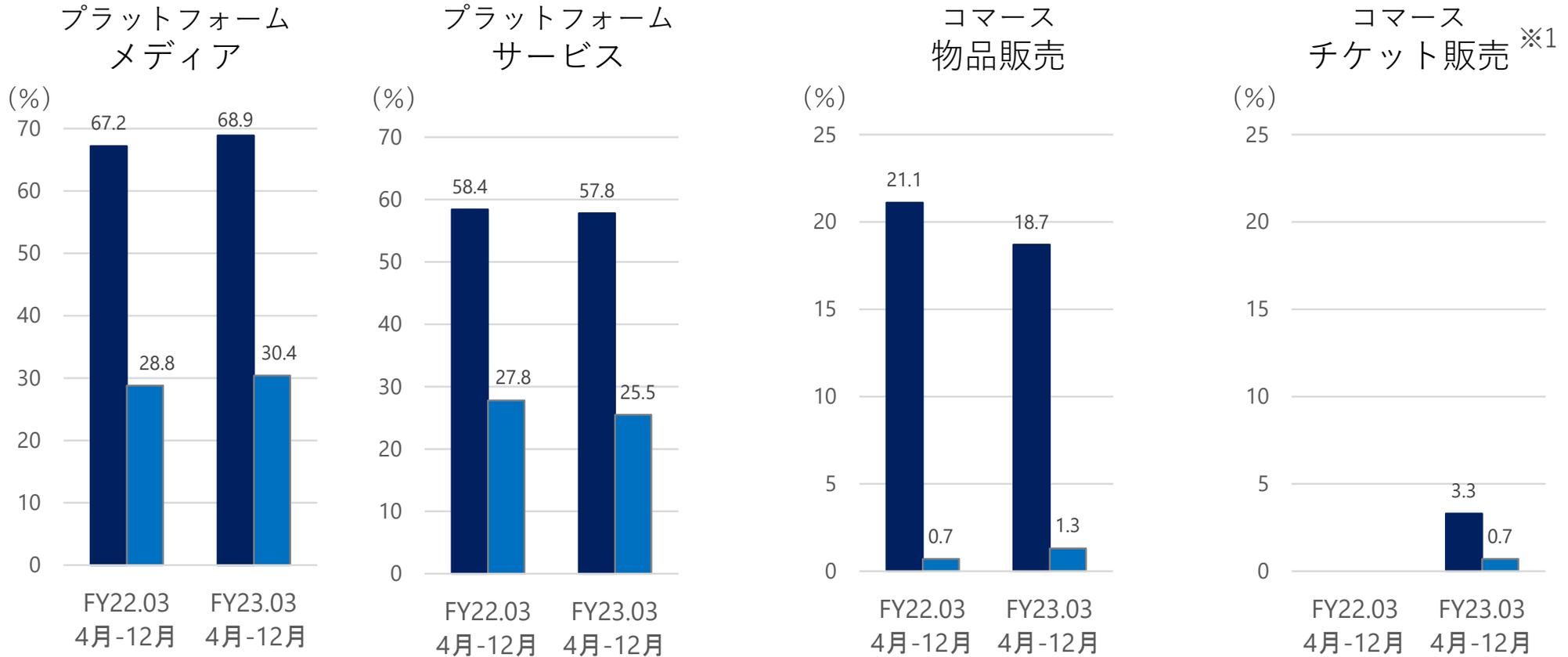
(単位：百万円)		前期実績	修正計画	当期実績	前期対比	前期対比	計画対比	計画対比
		2022年3月期 4月-12月(a)	2023年3月期 4月-12月(b)	2023年3月期 4月-12月(c)	(c)-(a)	(%)	(c)-(b)	(%)
プラットフォーム	売上高	21,399	22,436	22,465	+1,066	+5.0%	+28	+0.1%
	営業利益	6,123	6,586	6,609	+486	+7.9%	+23	+0.4%
メディア	売上高	17,157	18,088	18,106	+948	+5.5%	+17	+0.1%
	営業利益	4,944	5,462	5,499	+554	+11.2%	+37	+0.7%
サービス	売上高	4,241	4,348	4,359	+117	+2.8%	+10	+0.2%
	営業利益	1,178	1,123	1,109	▲68	▲5.8%	▲14	▲1.2%
コマース	売上高	18,293	46,825	51,993	+33,699	+184.2%	+5,167	+11.0%
	営業利益	122	332	489	+367	+299.0%	+157	+47.3%
物品販売	売上高	18,293	21,156	22,540	+4,246	+23.2%	+1,383	+6.5%
	営業利益	122	227	294	+171	+140.1%	+66	+29.3%
チケット販売	売上高	-	25,668	29,452	+29,452	-	+3,783	+14.7%
	営業利益	-	104	195	+195	-	+90	+86.7%
その他	売上高	2,999	3,962	4,871	+1,871	+62.4%	+909	+22.9%
	営業利益	388	252	398	+10	+2.7%	+146	+58.0%
管理部門	-	▲1,492	▲1,437	▲1,521	▲29	-	▲83	-
合計	売上高	42,692	73,225	79,329	+36,637	+85.8%	+6,104	+8.3%
	営業利益	5,141	5,733	5,976	+834	+16.2%	+243	+4.2%

セグメント別 売上高総利益率、営業利益率の推移

売上高総利益率

営業利益率

各セグメントにおいて収益性の改善を推進



※1 チケット販売に該当するコスミック流通産業ならびにコスミックGCシステムについては今期よりグループ入り

2023年3月期 第3四半期累計 業績の概要

プラットフォーム、コマースともに前年実績ならびに計画を上回る

プラットフォーム

① 中古車領域

ゲーネットに掲載する中古車物件のローン支払プランを表示するサービスやAIレコメンドスペースなど、成約率の向上を目的とするAI・DX関連プロダクトの拡販が寄与し、月額単価がYoYで5.1%向上。

② 整備領域

有料取引工場数が順調に増加するとともに、2022年2月にリリースした「MOTOR GATE PIT IN」の導入工場数が増加したことにより、月額単価がYoYで10.2%向上。

③ 新車領域

新車供給の滞りが徐々に改善されてはいるものの、引き続き厳しい市場環境にある中、DataLine AI査定を始め、DLSG乗換提案動画を自動で作成し配信するRPAサービスなどのオプションサービス拡販により月額単価がYoYで9.3%向上。

コマース

① 物品販売

タイヤ・ホイール販売については、主にオートウェイにおいて円安・原材料高の影響を販売価格へ転嫁したことに加え、強みである価格優位性が寄与し販売数量が増加したことにより、売上高・営業利益ともに計画を上回った。中古車輸出については、主に高単価なマレーシア向けの輸出が引き続き好調であることなどにより売上高・営業利益ともに前年実績ならびに計画を上回った。

② チケット販売

為替の影響により商品券需要が高まったことならびに売上高総利益率の高い株主優待券等の仕入・販売を強化したことにより、売上高・営業利益ともに計画を大きく上回った。

参考：2023年3月期 通期業績予想(2022年10月31日発表)

連結PL

	前期実績 2022年3月期	修正計画 2023年3月期
(単位：百万円)		
売上高	57,446	95,000
		前期対比+65.4%
営業利益	6,422	7,200
		前期対比+12.1%
経常利益	6,622	7,350
		前期対比+11.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,880	4,900
		前期対比▲16.7%
設備投資	1,234	1,888
減価償却費	877	1,041
EPS	146.34円	121.87円
1株当たり配当金	35円	35円

セグメントPL

	前期実績 2022年3月期	修正計画 2023年3月期
(単位：百万円)		
プラットフォーム	売上高 28,775	30,114
	営業利益 7,835	8,493
メディア	売上高 23,032	24,291
	営業利益 6,258	6,954
サービス	売上高 5,742	5,823
	営業利益 1,576	1,538
コマース	売上高 24,492	59,760
	営業利益 66	230
物品販売	売上高 24,492	26,947
	営業利益 66	116
チケット販売	売上高 -	32,812
	営業利益 -	113
その他	売上高 4,178	5,124
	営業利益 437	368
管理部門	-	▲1,917
		▲1,892
合計	売上高 57,446	95,000
	営業利益 6,422	7,200

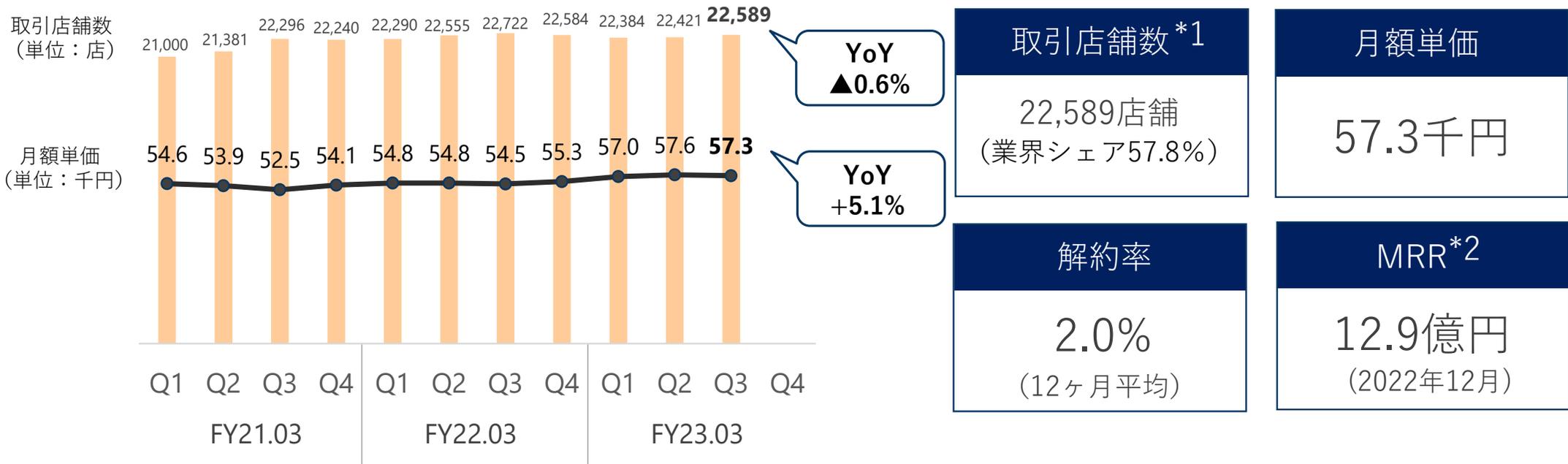
プラットフォーム事業の概況

プラットフォーム事業の概要について



中古車領域 の取引店舗数と月額単価推移

中古車物件のローン支払プランを表示するサービスやAIレコメンドスペースなど、成約率の向上を目的とするAI・DX関連プロダクトの拡販が寄与し、月額単価が向上

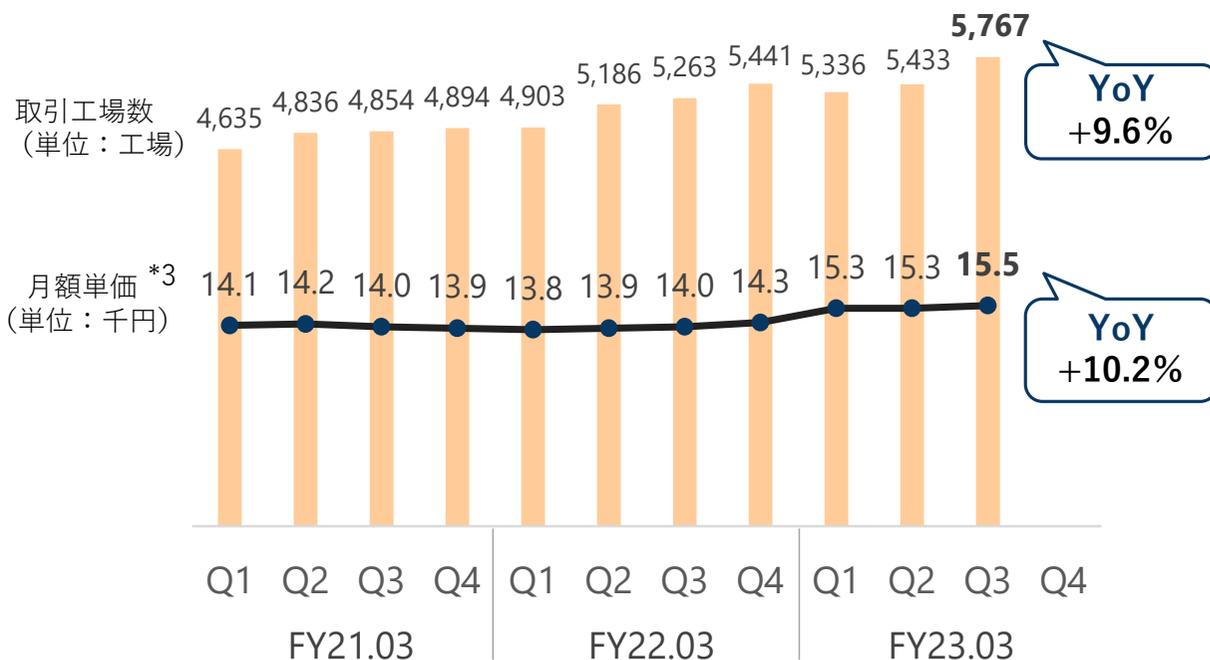


*1:対象マーケット39,081店舗

*2:Monthly Recurring Revenueの略称です。対象月の月末時点における継続課金クライアント企業に係わる月額料金の合計額となっております。

整備領域 **ゲーネットピット** MOTOR GATE の取引工場数と月額単価推移

2022年2月にリリースした「MOTOR GATE PIT IN」の導入工場数増加が寄与し、月額単価が向上。
10月リリースの「ゲー故障診断」「ゲーメンテナンスパック」の導入についても順調に推移。



取引工場数 *1
5,767工場 (業界シェア6.3%)

月額単価
15.5千円

解約率
1.3% (12ヶ月平均)

MRR *2
0.8億円 (2022年12月)

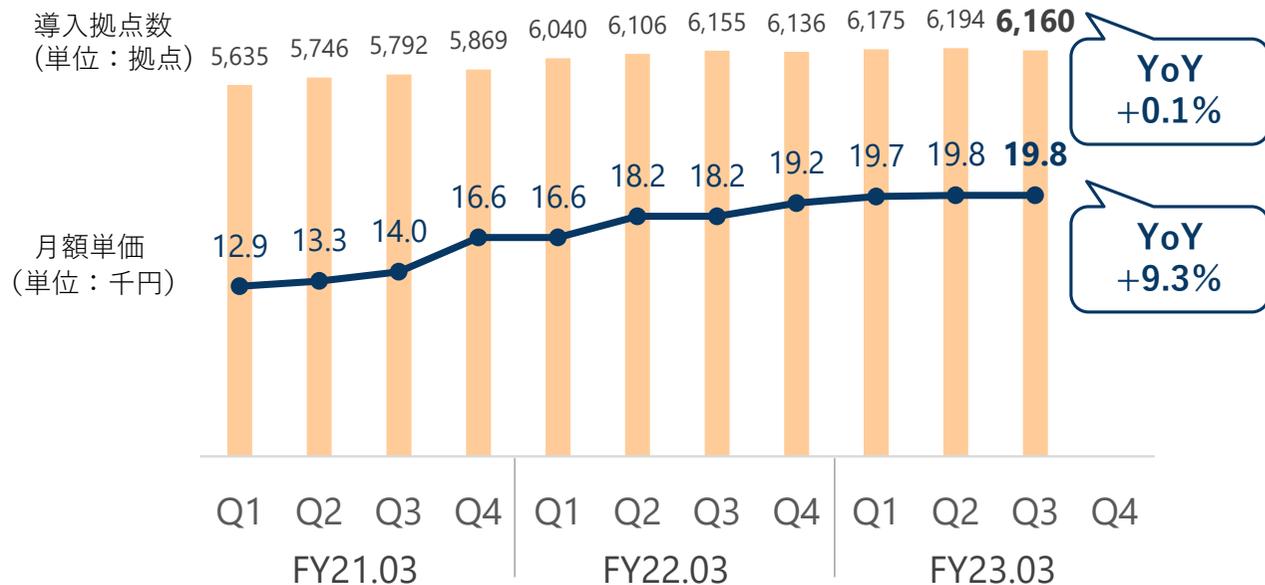
*1:対象マーケット 91,790工場

*2:Monthly Recurring Revenueの略称です。対象月の月末時点における継続課金クライアント企業に係わる月額料金の合計額となっております。

*3:MOTOR GATE PIT INの月額利用料を含みます。

新車領域 **DataLine SalesGuide** の取引拠点数と月額単価推移

DataLine AI査定を始め、DLSG乗換提案動画を自動で作成し配信するRPAサービスなどのオプションサービス拡販により月額単価が向上



取引拠点数 *1

6,160拠点
(業界シェア43.1%)

月額単価

19.8千円

解約率

0.4%
(12ヶ月平均)

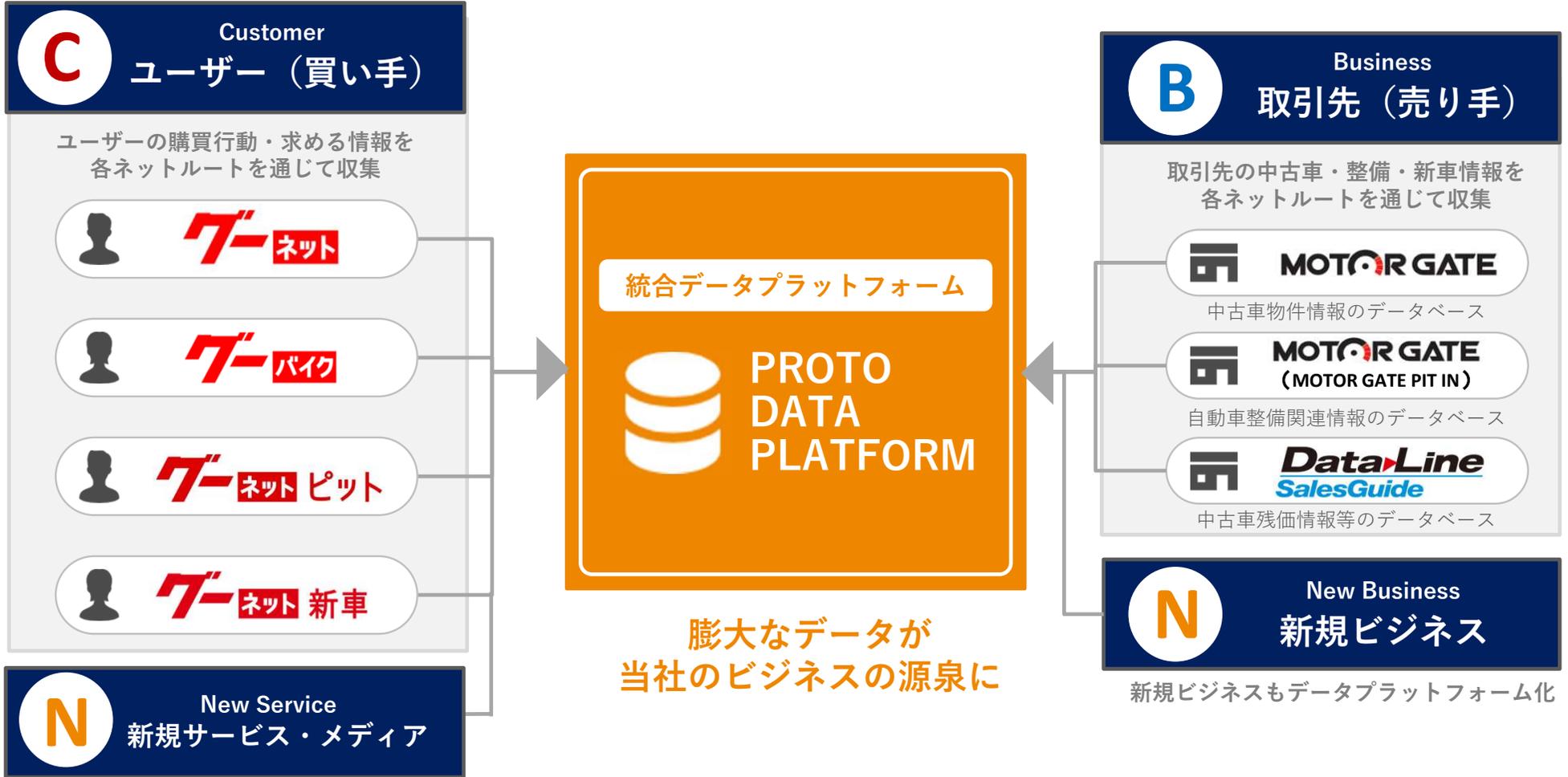
MRR *2

1.2億円
(2022年12月)

*1:対象マーケット 14,300拠点

*2:Monthly Recurring Revenueの略称です。対象月の月末時点における継続課金クライアント企業に係わる月額料金の合計額となっております。

① M&Aを含めたモビリティ領域のデータプラットフォーム構築



ユーザー、取引先から取得したデータを「データプラットフォーム」に統合

②データとAI技術を駆使した新商品・サービスの開発



引き続きモビリティ領域のDXに寄与するサービス開発を推進

Appendix

プロトグループ相関図

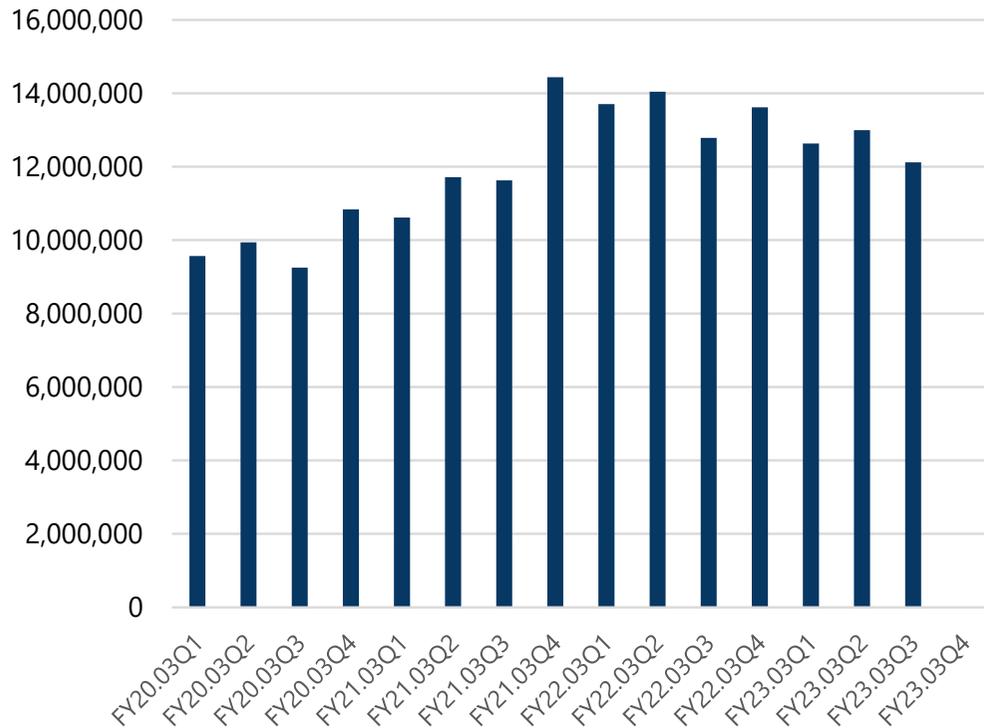
モビリティ領域のDXを推進し、顧客の業務効率改善や成約率の向上に寄与するとともにデータプラットフォームの構築を推進し、プロトグループの更なる企業価値向上を目指す。



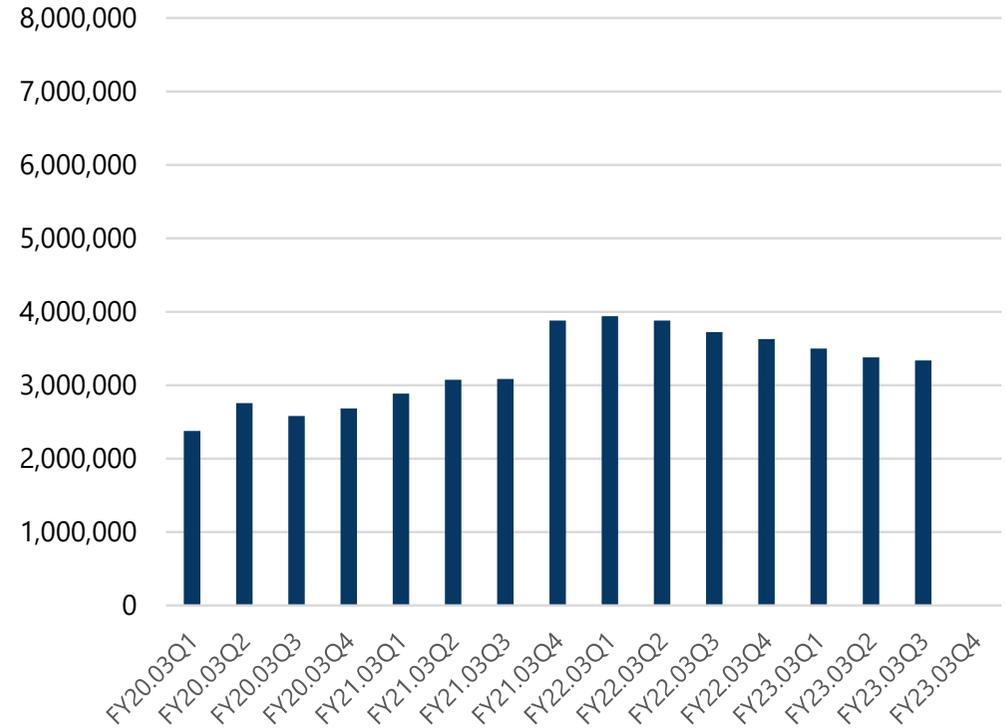
ユニークユーザー数

ゲーネットのUU数は月間1,200万、ゲーネットピットのUU数は月間300万程で推移

ゲーネット UU/3ヶ月平均

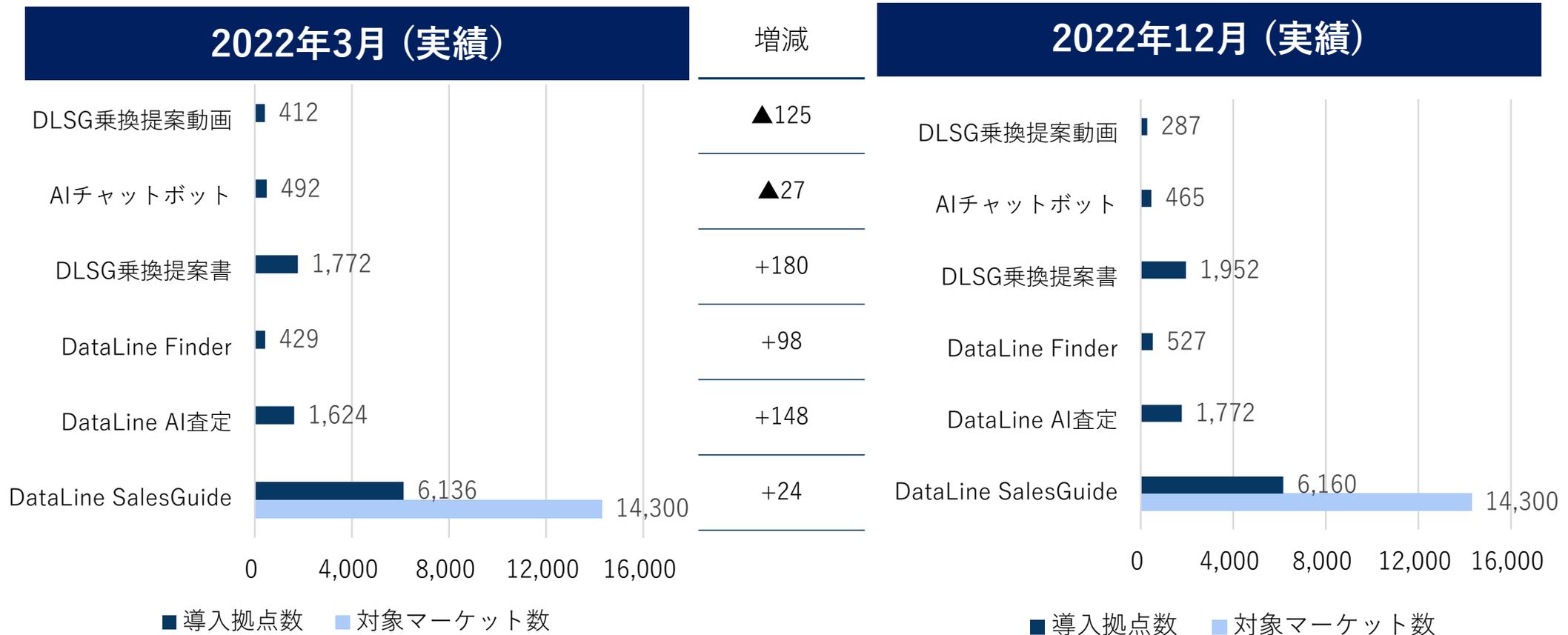


ゲーネットピット UU/3ヶ月平均



新車領域オプションサービス 導入拠点数推移

DX商品の開発及び導入拠点数拡大を推進し、
新車領域における絶対的ポジションの確立を図る



2023年3月期 第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年3月期 期末		2023年3月期 第3四半期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	37,635	69.0%	41,572	67.1%	3,937	110.5%
固定資産	16,890	31.0%	20,378	32.9%	3,488	120.7%
流動負債	13,035	23.9%	17,991	29.0%	4,955	138.0%
固定負債	1,093	2.0%	1,503	2.4%	410	137.5%
純資産	40,397	74.1%	42,456	68.5%	2,059	105.1%
総資産	54,525	100.0%	61,951	100.0%	7,425	113.6%

(単位：百万円)	2022年3月期 期末		2023年3月期 第3四半期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	26,159	48.0%	24,078	38.9%	▲2,081	92.0
有利子負債	3,257	6.0%	6,977	11.3%	3,720	214.2
ネットキャッシュ	22,902	42.0%	17,100	27.6%	▲5,802	74.7

2023年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,669	1,073	▲1,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,694	▲3,566	▲5,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,133	378	1,512
現金及び現金同等物の期末残高	24,719	23,832	▲886

(単位：百万円)	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	924	3,774	2,849
減価償却費	654	723	68
のれん償却額	272	382	110

連結業績（四半期推移）

(単位：百万円)	2021.3期 Q1	2021.3期 Q2	2021.3期 Q3	2021.3期 Q4	2022.3期 Q1 *1	2022.3期 Q2 *1	2022.3期 Q3 *1	2022.3期 Q4 *1	2023.3期 Q1 *1	2023.3期 Q2 *1	2023.3期 Q3 *1	2023.3期 Q4 *1
売上高	13,518	13,937	17,315	15,325	13,661	12,646	16,384	14,753	23,784	26,027	29,518	
売上総利益	5,962	5,978	6,859	6,391	6,233	5,752	6,603	6,037	6,709	6,554	7,688	
E B I T D A	1,829	1,667	2,418	1,347	2,096	1,606	2,366	1,591	2,415	1,907	2,760	
営業利益	1,502	1,335	2,088	1,014	1,780	1,304	2,057	1,280	2,082	1,525	2,368	
経常利益	1,554	1,273	2,045	1,245	1,865	1,365	2,064	1,327	2,100	1,568	1,709	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,017	774	1,437	1,624	2,281	1,341	1,426	830	1,398	1,002	1,089	

(単位：百万円)	2021.3期 Q1	2021.3期 Q2	2021.3期 Q3	2021.3期 Q4	2022.3期 Q1 *1	2022.3期 Q2 *1	2022.3期 Q3 *1	2022.3期 Q4 *1	2023.3期 Q1 *1	2023.3期 Q2 *1	2023.3期 Q3 *1	2023.3期 Q4 *1
販売費及び一般管理費	4,459	4,642	4,771	5,376	4,452	4,448	4,545	4,757	4,627	5,028	5,319	
人件費	1,902	1,872	1,867	1,883	1,797	1,647	1,682	1,722	1,808	1,828	1,913	
広告宣伝費	964	1,139	1,184	1,782	989	1,421	1,206	1,535	1,132	1,409	1,396	
その他	1,593	1,630	1,719	1,710	1,665	1,379	1,656	1,500	1,687	1,790	2,010	

*1:新収益認識基準となります。

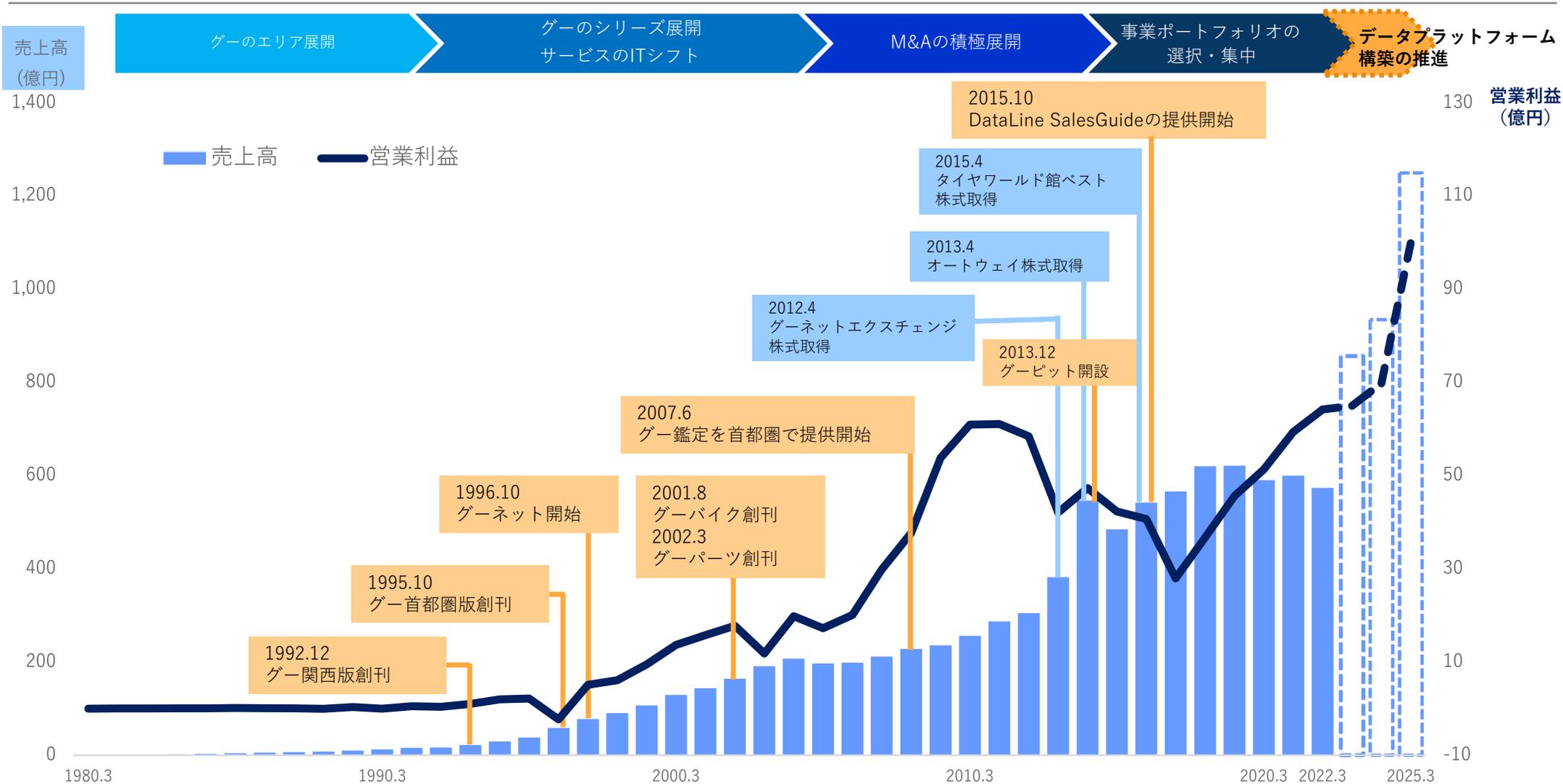
連結業績 セグメント別PL (四半期推移)

売上高 (単位：百万円)	2022.3期 Q1 *1	2022.3期 Q2 *1	2022.3期 Q3 *1	2022.3期 Q4 *1	2023.3期 Q1 *1	2023.3期 Q2 *1	2023.3期 Q3 *1	2023.3期 Q4 *1
プラットフォーム	6,986	7,210	7,203	7,375	7,364	7,478	7,622	
メディア	5,630	5,743	5,783	5,875	5,925	6,043	6,137	
サービス	1,355	1,466	1,420	1,500	1,439	1,434	1,485	
コマース	5,390	4,750	8,152	6,198	15,233	16,888	19,870	
物品販売	5,390	4,750	8,152	6,198	6,544	6,324	9,671	
チケット販売	-	-	-	-	8,688	10,564	10,198	
その他	1,285	685	1,028	1,178	1,186	1,659	2,025	
合計	13,661	12,646	16,384	14,753	23,784	26,027	29,518	

営業利益 (単位：百万円)	2022.3期 Q1 *1	2022.3期 Q2 *1	2022.3期 Q3 *1	2022.3期 Q4 *1	2023.3期 Q1 *1	2023.3期 Q2 *1	2023.3期 Q3 *1	2023.3期 Q4 *1
プラットフォーム	2,184	1,843	2,095	1,711	2,328	2,038	2,243	
メディア	1,816	1,412	1,716	1,313	1,937	1,694	1,867	
サービス	368	430	379	398	390	343	375	
コマース	27	▲212	307	▲56	107	▲52	434	
物品販売	27	▲212	307	▲56	79	▲137	352	
チケット販売	-	-	-	-	28	85	81	
その他	164	90	133	49	123	38	237	
管理部	▲596	▲417	▲478	▲425	▲477	▲498	▲546	
合計	1,780	1,304	2,057	1,280	2,082	1,525	2,368	

*1:新収益認識基準となります。

売上高・営業利益の推移



* 2022年3月期以降は新収益認識基準となります。(計画)
* 2023年3月期以降は2022年5月13日公表の数値となります。

会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション
創業	1977年10月1日
設立	1979年6月1日
資本金	1,849百万円（2022年3月31日現在）
発行済株式総数	41,925,300株（2022年3月31日現在）
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本（全国35拠点）
事業年度末	3月31日
社員数	連結：1,302名（2022年3月31日現在） 単体：534名（2022年3月31日現在）
上場取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場
連結子会社	1. 株式会社オートウェイ 2. 株式会社タイヤワールド館ベスト 3. 株式会社ゲーネットエクスチェンジ 4. 株式会社プロトリオス 5. 株式会社カークレド 6. 株式会社カーブリックス 7. 株式会社プロトソリューション 8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス 9. 株式会社アソシエ 10. 株式会社オニオン 11. 株式会社プロトベンチャーズ 12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合 13. コスミック流通産業株式会社 14. コスミックGCシステム株式会社 15. 沖縄バスケットボール株式会社 16. 沖縄アリーナ株式会社 17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社 18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd. 19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）

（2023年1月31日現在）

セグメントの変更について

旧セグメント

セグメント	サブセグメント
自動車関連情報	広告関連
	情報・サービス
	物品販売
生活関連情報	-
不動産	-
その他	-



新セグメント

セグメント	サブセグメント
プラットフォーム	メディア
	サービス
コマース	物品販売
	チケット販売
その他	-

主力の自動車関連情報をプラットフォーム（メディア、サービス）とコマース（物品販売）に独立させ、新規に加わったチケット販売をコマースにサブセグメント化することで、現状の組織体制を的確に反映し、より明確で分かりやすいセグメント区分に変更

主要グループ会社別の内訳

セグメント	サブセグメント	詳細
プラットフォーム	メディア	プロトコーポレーション（メディア：中古車・整備・二輪） プロトソリューション（メディア） カークレド（鑑定事業） ゲーネットエクスチェンジ（アライアンス）
	サービス	プロトコーポレーション（新車） プロトリオス（ソフトウェア販売）
コマース	物品販売	オートウェイ（タイヤ・ホイール販売） タイヤワールド館ベスト（タイヤ・ホイール販売） ゲーネットエクスチェンジ（中古車輸出） プロトコーポレーション（物品販売） プロトソリューション（物品販売）
	チケット販売	コスミック流通産業・コスミックGCシステム（チケット販売）
その他	-	プロトコーポレーション（農業、不動産、その他） プロトソリューション（BPO） プロトベンチャーズ・プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合（投資） オートウェイ（太陽光発電） 沖縄バスケットボール（バスケットボールチームの運営）

将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経理財務部 IR 森

Tel : 052-934-1514

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp